

NPO法人ありんこに
 関する詳しい情報は
 公式ホームページ
 arinnko.sakura.ne.jp
 にて公開中！！

ありんこだより

発行 NPO法人ありんこ編集部
 編集責任者 一戸 由佳
 住所 青森県弘前市大字富栄
 字笹崎80-1
 電話 0172-96-2774
 Fax 0172-55-9591

ありんこ農業部 続・今年のかぼちゃとひょうたん

今年2年目となった、ハロウィンのかぼちゃ。やよいのあかりの玄関前で、利用者の皆さんをお出迎えました。



今年も千年園さんと、レストラン Eat & Talkさんに、かぼちゃを販売することができました。

今後の課題として、公告、チラシなどを作り、もう少し早くから販売のお知らせをすると良かったと思っています。また、ホームページも活用して、広く一般の方からも購入希望をとれるように、検討していきます。

そして、何より、来年は美味しく食べられるハロウィンかぼちゃを、盗難を防いで作りたいと思います。

そして、ひょうたん。不思議なご縁で、すばらしいひょうたんの師匠に出会うことができました。お米作りの傍ら、もう何十年も趣味でひょうたんの栽培と加工をされている方です。見学に向うと、いろいろなひょうたん作品と出会うことができました。また、今年の試みは、盗難等により失敗したことを伝えると、なんと30個もの処理済みのひょうたんを譲ってくださり、来年以降の技術指導も受けていただきました。ありんこ農業部はこれからも頑張ります。

インフルエンザワクチン接種

ありんこ会員様限定

昨年はワクチン不足で大変な思いをされた方もたくさんいらっしゃったのではないのでしょうか。当法人では今年初の試みとして、会員の皆様とご家族様(3歳以上)を対象に、インフルエンザワクチンを特別価格(税込み1500円)にて接種できることになりました。またその際ご希望があれば、聴力検査を含む耳鼻科健診を、自己負担なしで受けていただくことも可能です。なおその結果治療をお勧めする場合がありますので、予防接種、耳鼻科健診をご希望の場合には、この「ありんこだより」と保険証、各種医療券(お持ちのかたのみ)などをご持参の上、五所川原市のエルムショッピングセンター近く「いちのへ耳鼻科」までお越しください。

予約は不要ですが、ワクチンがなくなり次第終了させていただきます。また、12歳以下の方、2回目の接種が必要な方のみ、ワクチンの確保のため、予約をさせていただきます。

なおインフルエンザの予防接種につきましては、児童デイサービスやよいのあかり利用者様は、ご希望により事業所での接種につきましてもご相談ください。

恐れ入りますが、この件でのお問合せは、「いちのへ耳鼻科」ではなく、児童デイサービスやよいのあかりまでお願いします。0172-96-2774 担当 一戸由佳

「いちのへ耳鼻科」診察情報

土曜日の午前は、接種を行っておりません。休診日は、日祝日の他、偶数週の土曜日と奇数週の木曜日です。

受付時間は、 8:00-12:30 12:30-18:00
 診療開始は、午前は9:15から、午後は、15:00からとなっております。

詳細は、『いちのへ耳鼻科』で検索するか、下記参照ください。
<http://sv01.e-junban.com/ichinohe/ichinohe1/>
<https://itp.ne.jp/info/020402915101341730/about/>

施設見学

今月の外部研修は拓光園放課後等デイサービスセンター「ばすてる」に行きまして参りました。

生活介護と併設されていて、賑やかさの中に時間や空間を上手に工夫して活動していることが印象的でした。

また、課題分析として事業所・学校・家庭のアセスメントをとり、段階に応じたチェックシートをつけ、細やかな支援が行われていることがとても勉強になりました。

特にお互いの事業所を利用する子供たちの着替え、食事等のサポートの仕方が孤立してガラパゴス化しないようにするための事業所間の連携の必要性を感じ、これからは定期的にこのような研修を企画していくことができると思っています。

ご多忙中にもかかわらず、職員の方々の懇切丁寧な対応ありがとうございました。



安全祈願祭

児童デイサービスやよいのあかりでは、寒い冬の到来を前に、これまで大きな事故なく事業所運営ができたことの感謝、そして、今後の利用者様と職員の安全を祈願して、安全祈願祭を行いました。当日は事業所休業日でしたが、職員も集まり、神主様の祝詞にて、御祓いをしていただきました。

一同身の引き締まる思いでした。



理事長のつぶやき

病院実習を終えて

5月から続いていた病院の実習が、10月いっぱい終了した。振り返れば6か月間はあっという間で、何とかここまでできたことは、本当に奇跡だと思う。

夫は私が看護学校に入ってから、私が資格を取るまでの2年間は、「チームいちのへ」で頑張ろうと言ってくれ、毎日の家事や育児を全面的に行ってくれた。いつの間にか料理も洗濯も掃除も上手になり、息子や娘との関わりも増えた。特に料理の腕前は、煮込み料理や鍋物など、私はかなわない。そして私もまた、病院の実習を通して、視野を広げることができた。法人の運営にあたって、このことはいずれ大きな意味をもつと思う。

これからやっとなら、午前中は法人の仕事をして、午後学校に行くというスタイルに戻る。そして、いよいよ来年2月には資格試験を迎える。

ここまできたら、どうしても合格したい。いや、しなければならぬ。今まで感じなかったプレッシャーに、押しつぶされそうになることもある。けれど、自分で選び、家族や周りの人に支えられて過ごした2年間を無駄にするわけにはいかない。

すでに気力も体力も限界に近いが、おそらく人生最後の学生生活、残り4か月ほどを楽しもうと思う。

そして来年、資格を取得した後は、家族や法人、私を支えてくださった皆さんにご恩返しができるよう、精いっぱい努力をしていきたいと思っている。

できるかできないか、ではなく、やるかやらないか。

私は最後まで諦めないでやってみようと思う。

すると不思議といろいろなところから、救いの手は必ず伸びるのだ。